

アーティストが見た北海道・札幌プログラム02

小樽ツアー 深澤孝史 09.23

オタル 信仰・近代・美術を巡る

北海道開拓の歴史を紐解くと、江戸末期、明治にかけて小樽は北海道の中心として急速に栄えていきました。鯨(ニシン)漁と鉄道が主な産業です。北海道経済の中核、北のウォール街として日本銀行、北海道銀行など多くの金融機関の集まる場所でもあり、同時に文化や信仰の面でも栄え、華やかな歴史的建造物が今も数多く残っています。

縄文時代から人が住み、江戸時代には和人の村もできた漁師町である祝津の下赤岩山の白龍権現は、アイヌのコタンの伝承と明治初期に高野山から来た僧による修験道の場とが習合した霊山です。白い大蛇に何人ものアイヌの娘が生贄に出され、余市のアイヌの娘が獵犬とマキリを携え退治した伝説が残っており、神社や寺院が建ち、山道を白蛇の胎内に見立てた巡礼路も整備されていきました。そして近代以後は、登山道としても親しまれるようになります。

また小樽は、国際的に活躍した版画家が住んでいた町でもありました。斎藤清、河野薫、一原有徳の三名がその筆頭と言えます。今回は彼らの生活にも重要な位置を占めていた小樽の近代と信仰を巡る旅に出かけます。

小樽駅 8:50 集合 (札幌駅 8:00)

参加費 無料 (交通費や入館料などの実費は、各自負担)

電車賃 (札幌小樽間 片道 620円)
美術館 500円 / 茨木家中出番屋 200円
バス一日乗車券 750円 / ランチ代 1,000~2,000円

定員 10名 (先着順)

持ち物 飲み物、タオル、帽子、動きやすい服装・靴

▶ 9/22 (金) までに、下の WEB サイト か 電話 より申し込み下さい。



<https://www.secure-cloud.jp/sf/1501164459fObflKZh>



070-5607-4204

10:00-18:00
資料館休館日は除く

問い合わせ先

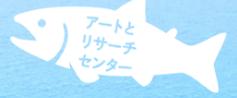
アートとリサーチセンター

札幌市資料館 2階 (札幌市中央区西13丁目)

070-5607-4204 (10:00-18:00 / 資料館休館日は除く)

siaf2017aarc@gmail.com

札幌国際芸術祭2017



秋分の日 SAT

2017 9/23

08:50-17:00



ツアー企画およびガイド

深澤 孝史 (ふかさわたかふみ)

美術家。1984年生まれ。様々な場でプロジェクトを展開。

代表作に《神話の続き》(奥能登国際芸術祭 2017)、《常陸佐竹市》(茨城県北芸術祭 2016)、《越後妻有民俗泊物館》(越後妻有大地の芸術祭 2015-)、《とくいの銀行》(取手アートプロジェクト 2011-) など。

ツアー行程 9/23 秋分の日 SAT

08:10

札幌駅発

08:50

小樽駅—小樽駅バス停—おたる水族館バス停

09:45

茨木家中出番屋—下赤岩山 (白龍権現 / 白龍胎内巡り)

12:04

赤岩二丁目バス停—小樽市街

—昼食—

小樽美術館—小樽駅前通りバス停

16:00

宗円寺

※小雨決行 (雨天時はルートを変更します)

